



2011年8月5日
国際協力機構（JICA）
カンボジア事務所

成長する「3億人」経済圏
大メコン河流域圏（GMS）連携に貢献
—GMS 会合で鈴木所長—

8月2日から4日、カンボジア・プノンペンにて「第17回大メコン河流域圏計画（The Greater Mekong Subregion <GMS> Economic Cooperation Program）」の担当大臣会合および開発パートナー会合が開かれました。会合では今年12月にミャンマーで開かれる予定の第4回 GMS 首脳会合に向け、今後の開発計画の基本となる2012年から2022年までの GMS 戦略枠組みについて協議しました。

JICA カンボジアは、GMS メンバー国のカンボジアに対して、地域開発に欠かせない「コネクティビティ（連携）」の改善に取り組んできました。4日の担当大臣会合では、JICA カンボジアの鈴木康次郎所長が、GMS の開発パートナーとしてその取り組みを説明しました。

鈴木所長は、①ベトナム、カンボジア、タイの南部を連携する「南部経済回廊」のロジスティクス改善のため、国道1号線およびメコン河に架ける「第二メコン架橋（ネアックルン橋、2014年竣工予定）」の建設支援②シハヌークビル港のコンテナヤード拡張および隣接するシハヌークビル港経済特別区の建設（ともに今年12月竣工予定）、これらに伴う輸出産業の成長に不可欠な通関分野の人材育成③電力分野での送電線事業および中央給電指令所への支援—などを具体例として挙げながら、「カンボジアのインフラ環境はこの2、3年で大きく変わり、GMS のコアとして重要な役割を果たすだろう」と、述べました。

GMS および会合の詳細は以下をご覧ください。<http://beta.adb.org/news/events/17th-gms-ministerial-conference>

南部経済回廊に関する JICA の取り組みについては以下をご参照ください。

第二メコン架橋（ネアックルン橋）

http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/data/gaiyou/odaproject/asia/cambodia/contents_01.html#m012201

国道一号線改修

http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/data/gaiyou/odaproject/asia/cambodia/contents_01.html#m012104

シハヌークビル港 <http://www.jica.go.jp/oda/project/CP-P10/>

シハヌークビル港経済特別区 http://www.jica.go.jp/topics/2010/20100616_02.html

大メコン河流域圏（GMS）計画

メコン河流域の中国、カンボジア、ラオス、ミャンマー、タイ、ベトナムの6カ国で構成。アジア開発銀行（ADB、本部マニラ）の支援で、地域の総合的な開発プロジェクトをめぐる各国間の協力を促進するため、1992年に立ちあげられた。農業、エネルギー、環境、人材育成、投資、電話通信、観光、交通インフラ、運輸・貿易の9分野を中心に協議をする。

<問い合わせ先>

JICA カンボジア事務所

広報班 下地

Email:ShimojiMihoko.CM@jica.go.jp

Tel: +855-(0)-23-211-673

Fax: +855-(0)-23-211-675

P.O.Box 613m 6th-8th Floors, Building #61-64

Preah Norodom Blvd, Phnom Penh